

つながりの中で暮らす  
望まれた人として生きる  
自分らしく生きていく



No. 47

2016年1月発行



## 謹 賀 新 年

昨年はお世話になり、ありがとうございました。  
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。  
今年が佳き年となりますように！



NPO法人を設立して12年が経とうとしています。この間、福祉サービスは大きく変化してきました。法人の活動はゆっくりですが、たくさんの方々に支えられながら、地道に歩んできました。法人の社員も年を重ねて生活も変化し入れ替わりもありました。でも、法人設立時の「出会い つながり 夢を語ろう」という想いは変わりません。新年を迎え、改めて、法人の理念を心に刻んで活動していきたいと思えます。

「誰もが つながりの中で暮らす 望まれた人として生きる 自分らしく生きていく」

私たちはそのためのサポートを行います。

誰もが希望をもって暮らすことのできる地域社会を目指します。

当事者や家族、地域住民と共に考え行動します。

## バスツア——！

～ 収 穫 の 体 験 を し ょ う ～

日 時：2015年10月24日（土）9：30～17：00

行き先：南楽園（堺市）

参加者：障害をもつ子どもときょうだい 16名

学生ボランティア 9名

助 成：大阪府福祉基金地域福祉振興助成金事業



今までは公共交通機関を使って外出イベントを行ってききましたが、今回は、公共交通機関では行くことが難しく、日常ではなかなか体験できない収穫や釣りを、観光バスを利用

し、学生ボランティアの協力を得て実施することができました。

行きのバスでは、学生さんと中学生の子どもがクイズをだして盛り上がり、仲良くなりました。子どもたちは、バスを降りる時に、運転手さんに「ありがとうございました」とお礼を言うことができました。南楽園は、急な斜面にミカンの



木があり、ミカンは木からもぐのが難しかったのですが、子どもたちは学生さんと一緒にミカンを取って食べました。芋掘りと魚釣りはグループに分かれて活動しました。芋掘りのグループは、サツマイモの埋まっている土が固くて、泥だらけになりながら、しゃもじで土を掘って採りました。大きな芋が見えると大喜びでした。釣りのグループは、最初の一匹が釣れるまで、みんな緊張していましたが、魚を持つことが苦手な子どもも学生さんも、釣れた魚を持って針をはずしたり、魚がかかった時の感触を知ることができたり、熱中していました。魚は持ち帰れないので、池に返しました。帰りのバスでは、誕生日の子どもがいて、みんなでハッピーバースデーの歌を歌いました。

子どもたちと学生さんたちには、いろんな出会いと交流があり、とても充実した一日でした。体験の少なくなりがちな障害をもつ子どもたちにとって、とても貴重な体験になりました。急斜面でのミカンがり、泥だらけになりながらの芋掘り、釣り堀での魚釣りなどの活動を通して、収穫することの大変さを感じ取り、ルールを守ることの大切さを学び、収穫の喜びを感じ、お兄さんやお姉さんと試行錯誤をしながら仲間と楽しい時間を共有することで、自立へのきっかけにつながる事業を実施できたと思います。子どもたちが解散した後、ボランティアの学生さんたちに感想を書いてもらい、その後、輪になって振り返り会をしました。質問や意見交換が多くあり1時間にも及びました。

### <ボランティアの感想から>

- ・ 積極的に行動し、皆と楽しく遊べていました。AくんやBくんを担当して、印象として全力で楽しんでいるなというのを感じました。みかんをおいしそうに食べていました。子どもたちとの活動を通して、大変なことも多いけど、元気な姿を見ると頑張れるという気持ちになることを改めて再認識しました。
- ・ 子どもたちにとって、果物の収穫、お芋ほりをする事で、食べ物のありがたみを楽しく学べたと思います。自分にとっても、子どもの成長や楽しく食べ物のありがたみが知れたと思います。
- ・ 今日担当したCくんは、ミカンがりでは、たくさん食べると思っていたのですが、1個しか食べなくて、登り降りを繰り返したりしてとても楽しそうだったのでよかったです。たくさん歩いて疲れていましたが、いい運動にはなったと思います。年下の子にとっても優しい一面を見せてくれたので感動しました。
- ・ 車いすを押すのが初めての体験で、坂道や段差など、どのようにすれば良いのか戸惑ってしまう部分がありましたが、スタッフの方に手伝っていただき、とても助けられたし、勉

強になることがありました。ミカンがりをして、たくさん食べている子もいたり、あまりミカンが好きでない子も自分でとったのだからちょっとでも食べようとチャレンジしていたり、子どもたちにとってもとても良い経験ができたのではないかと思います。

- ・ 歩きにくい道が多かったためか、子どもから学生の手を取る場面が多く見られました。ミカンがりの際にはきちんとルールを守っている子どもが、全体に声かけをしてルールの共有を促していました。魚釣りの時には魚が釣れたことへの喜びを感じる一方で、「針が刺さって痛そう」と言っていた子どももいました。



### <子どもの感想から>

- ・ ほうぷでバスにのって南楽園にいきました。さいしょにごはんをたべました。つぎは、みかんがりをしました。私はみかんを10こたべました。おいしかったです。いもほりをしました。どうくつきさでソフトクリームをたべました。バスツアーでは、私はバスレクのクイズがかりでした。イントロクイズをしました。たのしかったです。次はイチゴがりに行きたいです。
- ・ おべんとうをたべました。いもほりをたのしかったです。しゃしんをとりました。
- ・ ぼくは、みかんを大きいの1こたべて、そのみかんおいしかったです。そのあとつりをして、さいしょは、ぜんぜんつれなかつたけどどンドンつれるようになってきていっばいつれました。たのしかったです。
- ・ バスにのって南楽園に行きました。ぼくは、みかんを2〜3こ食べました。アスレチックが楽しかったです。どうくつきさで紅茶をのみました。いもほりが楽しかったです。
- ・ つりざおしてさかなとれました。たのしかったです。



## 「旭区ふれあい広場」に参加しよう！

日 時：2015年10月31日（土）11：00～15：00

場 所：旭区民センター

参加者：障害をもつ子ども 11名、学生ボランティア 4名

助 成：大阪市旭区社会福祉協議会 児童育成事業等助成



旭区社会福祉協議会主催の「旭区ふれあい広場」に参加しました。障害をもつ子どもたちが、販売の体験をしました。保護者の方々からバザー用品を寄付していただき、子どもたちの手作り作品も並べました。会場内では区内の様々な団体がお店を出したり、ステージでは音楽などの披露があったり、大賑わいでした。たくさんの知り合いの方々が、声をかけて下さったり、手作り作品を買って下さったりしました。子どもたちは、自分の作品が売れるととても嬉しそうでした。地域とつながりを感じたイベントでした。

#### <ボランティアの感想から>

- ・ 初めて参加しました。お店を出している時、子どもたちは一生懸命に声を出して、お客さんとコミュニケーションを取って、とても顔が活き活きして楽しそうでした。自由時間もお店を回ったり、スタンプラリーを楽しそうにしたりしていました。始めはあまり話せませんでした。だんだんと話してくれるようになり、うれしかったです。貴重な体験ができました。
- ・ フリーマーケットが始まる前からお客さんがいっぱい来て驚きました。最初はどうか分らなかったけど、子どもたちが教えてくれました。お昼は会場内のお店を回って、限られたお小遣いの中でどれを買って食べるか考えているのがかわいかったです。



## ショッピング！

日時：2015年12月5日（土）13：00～16：30

行き先：都島ベルファショッピングセンター

参加者：障害をもつ子どもときょうだい13名、学生ボランティア 7名

助成：大阪市旭区社会福祉協議会 児童育成事業等助成

市バスに乗ってショッピングセンターに行きました。大学生のお兄さんお姉さんと一緒に、服や小物を選んだり買ったりしました。すぐに欲しい服を見つける子ども、悩んで悩んで買うものを決める子ども、大好きな色の服を買った子ども。最後に、駄菓子屋さんで、100円を握りしめてお菓子を買いました。足したり引いたりしながら、カゴに入れたりカゴから出したり。ほうぶに帰って、みんなでおやつにしました。

#### <ボランティアの感想から>

- ・ スカートを選ぶときはクリスマスらしい暖かそうなものを見つけてきて、試着もして、と

でも気に入ったようで良かったです。買い物の後、本屋にいたのですが、集合時間が近くなかったので声をかけてもなかなか動いてくれず、「いや！」と言われ、どうしていいのかわからなくなってしまった時がありました。でも、一日を通していつもよりたくさん話してくれて嬉しかったです。

- ・ 買い物では、何をかうかを一生懸命時間ギリギリまで考え、最後は自分で買ったので良い経験になったのではないかと思います。
- ・ 初めて参加させていただきました。買い物をしている時は楽しそうにしてくれていたのですが、終わった後は疲れているように見え、疲れた？と聞いたら、疲れていないと言われました。相手が本当に疲れていないかがよくわからなかったです。逆に座り込んだり笑顔が無くなったりした時、どうすればよいかわからなかったです。



## ファッションショー&クリスマス会

日 時：2015年12月19日（土）15：00～16：30

場 所：地域生活サポートネットほうぶ事務所

参加者：障害をもつ子どもときょうだい13名、学生ボランティア4名、  
家族6名、学校の友だち4名



協 力：トモ美容室、松本さん・浅井さん・橋本さん・吉田さん（大学生）

助 成：大阪市旭区社会福祉協議会 児童育成事業等助成

この冬も「ほうぶコレクション in Winter」を開催しました。美容師さんにご協力いただき、子どもたちの髪の設定をしていただきました。ファッションショーは、服を選んだりコーディネートしたりする機会だけではなく、子どもたちが自己表現をする場でもあります。今回は、進行も音響も子どもたちが担当しました。ファッションショーは15時からでしたが、準備やヘアセットのため、子どもたちは早く来て、ご近所の方が作ってくださったクリームシチューと障害者の作業所「飛行船」のパンをおいしそうに食べて腹ごしらえをしました。クリスマス会は、武庫川女子大の教員と学生さんがステキな音楽タイムを創って下さいました。美しい音楽を聴いたり、楽器を持って合奏に参加したり、楽しいひと時でした。

### <ボランティアの感想から>

- ・ ファッションショーの準備から本格的で、子ども達もそれぞれ思い入れのある服を着て参加していて、とても楽しそうで良かったです。子ども達で進めている様子が特に印象に残

っています。音楽会を聴いている子どもたちも楽しそうに参加していて笑顔が見れたので良かったです。今日一日楽しかったです。

- ・ 今日、初めて参加させてもらって、子ども達も初めて会った僕たちに「遊ぼう」と常に来てくれて、スタッフの皆さんも優しく温かく迎えてくださって本当にうれしかったです。今日だけで皆の気持ちや考えていることが全てわかったわけではありません。ですが、ほんの少しだけ、こういうことをしたら喜んでくれるんだということがわかったような気がします。今回だけでなく、これからも何回も可能なら参加してボランティアさせていただきたいです。

### <子どもたちの感想から>

- ・ かわいく髪の毛をしてもらいました。とてもうれしいです。ファッションショーしてうれしくなりました。クリスマスもたのしくなりました。とてもごうかでした。おんがくを聞いて大好きな事が増えました。
- ・ 今日はファッションショーをやるのもみるのもたのしかったです。クリスマス会のえんそうがよかった。ベイマックスをうたった人のこえがきれいだったです。さいごのみんなのえんそうがたのしかったです。さいごにおかしをもらえてうれしかったです。
- ・ クリスマス会をしました。ファッションショーをしました。私は音楽かかりをしました。スゴクきんちょうしました。たのしかったです。



## 放課後等デイサービス「楽童ほうぶ」報告

放課後等デイサービスを開始して2年が経ちました。サービス提供者に陥ってしまわないようにと、昨年、楽童ほうぶの活動方針を明文化しました。障害をもつ子どもが、あたりまえに一人の人として尊重され、ありのままに受け容れられ、地域のつながりの中で育つことをサポートしていきたいと思っています。スタッフ一同、ともに育ちあい生きていくインクルーシブな教育や社会を願い、子どもに寄り添っていきます。

楽童ほうぶでは、子どもたちが主体的に思いを伝えるように活動したり、ロールプレイを使って相手の立場や気持ちを伝えたり、スタッフが話し合いながら活動をしています。また、七宝焼きや革製品づくり、はてなのじかん（工作や科学実験の時間）などの創作活動を行ってきました。そして、子どもの将来を思い描きながら、個別には「個人将来計画」の作成をし、グループとしては、衣食住働にかかわる活動をしたり、地域の方々と交流したり、社会参加の機会を増やしたり、様々な体験をする機会をつくっています。

夏の旭図書館でのしごと体験に続き、11月7日には中高生と保護者を対象に「すまい」の研修会を開催しました。グループホームの見学に行き、職員の方にグループホームについてのお話を聞きました。保護者の参加が3名と少なかったのですが、子ども本人も保護者もスタッフも将来に向けて貴重な学びになったと思います。

#### <保護者の感想から>

- ・障害をもつ人たちが親元を離れ、普通にそれぞれの生活の時間が流れていることに改めて感動しました。わが子にとって安心できる場所をさがす…というより、支援を相談しながら作っていくというのは、これまで考えたことがなかったように思います。参考になって励まされたのと同時に、何か、身のひきしまる思いもしました。
- ・まだ新しいところで、とてもきれいでした。エレベーターもあり、家の中も車椅子で入れました。お部屋の中も見せてもらい、みなさん、キレイにされていました。一週間の予定表が貼り出されていたり、掃除などの役割分担なども貼っていました。グループホームに入る年齢は若ければ若いほどいいと言われていた、その言葉に親としてドキッとしました。

#### <子どもの感想から>

- ・へやがきれいで、ドラえもんにんぎょうがおおかった。ほかにもせんたくきが2つあるのがおどろいた。ふつうのいえだった。
- ・ほうぶもあんな広い家がいいです。とっても広かったです。楽しそうです。玄関がコンビニの音がしました。



野菜の種を  
植えました



昨年は腰痛に加え頸椎間板ヘルニアを発症し、それでも仕事は休めず、青息吐息の一年でしたが、活動を振り返ると、本当にたくさんの方々に支えられ助けられてきたことを感じます。新年を迎え、感謝の気持ちを胸に、一日一日大切に地域に根ざした活動を行っていきたいと思います。

幸せは分かち合うもの。今年もみなさんとともに歩みます。  
どうぞよろしく申し上げます。

